

Vol.135

ぐんばる

講道館杯全日本柔道体重別選手権大会

スポーツ救護
現場での役割を考える

2024

12

救護連携 複数のレイヤーで 現場の医療リソースを有効活用



スポーツ救護

11月2・3両日、高崎アリーナで2024講道館杯全日本柔道体重別選手権大会が開催され、群馬県柔道整復師会から救護員として12名が参加。試合進行に配慮しながら、怪我をした選手への対応に従事した。

講道館杯は毎年開催される体重別柔道日本一を決定する大会。同じく体重別で行われる全日本選抜柔道体重別選手権大会や体重無差別のみで行われる全日本柔道選手権大会と共に日本国内におけるビッグタイトルの1つであり、本大会の結果から冬季ヨーロッパ

国際大会の出場メンバーが選出・決定される。

▶ 試合進行も考慮して できる事はなんでも

両日とも救護員の構成は医師8名、看護師2名、柔道整復師12名。看護師は医務室で、医師・柔道整復師は5箇所に分かれ会場内で待機し



た。

大会中、救護対象となったのは延べ48人。大半は顔面や手指等からの出血によるものであり、担当医師が迅速かつ適切に処置。大会の規程から、同じ部位から2度以上の出血があると反則負けとなるため、選手および治療を施す側も気を抜けない。

9月に開催された全日本ジュニア選手権と同様、幸いにも選手の身に危険が及ぶような事態こそ発生しなかったが、救護補助員として止血用備品



の準備や出血で汚れた畳の清掃にも従事した。

搬送方法・経路を 入念にチェック

柔道に限らず、各種スポーツ救護現場では選手の安全はもちろんのこと、スムーズな試合進行も求められる。医師や看護師など多職種と協働しながら、救護員としてチームワークを発揮するための訓練は必須である。

実際に重大事故が発生した際には、選手の安全を確保しつつ素早く試合場から離脱させる必要があり、そのため搬送方法の徹底や経路の把握は欠かせない。今回は両日とも早めに会場入りし、搬送用器具の使用方法や搬送経路を何度も確認。研修会等（下段コラム）で養った知識を活かし、問題意識を持って取り組



んでいた。

連携を深めて 医療リソースを有効活用

スポーツの現場では思わぬ怪我も多く、多様な課題に直面し、選手自身へ100%の支援が届きにくい。医療リソースや人的資源も限られる中で、現場でできることは限定的だ。有効活用するには理論と実践を織り交ぜて、救護員

の配置や研修などを通じた連携など、スポーツ救護を理解する土壌づくりも欠かせない。

こうした活動は社会的認知度を高めるための万能薬ではないが、柔道整復師がスポーツ振興、おいては地域社会の中で大きな存在感を示し、強靱性を高める手段の一つとなるだろう。

救護研修会

反省点を洗い出し

講道館杯柔道選手権大会に先立ち9月下旬、群馬県柔道整復師会多目的ホールで岡田尚之先生を中心として救護研修会を開催した。

冒頭、岡田先生は「救護について議論できる場は大変貴重です。続けていく事が非常に大事」として柔道整復師がスポーツ救護で果たす役割の大きさに期待を寄せた。

まずは9月に開催された全日本ジュニア柔道体重別選手権大会に救護員として参加した際の反省点を議論。

続いて天理大学で開催された「第11回柔道医科学研究会」に岡田先生



次回へフィードバック



と櫻井太郎・新田健治両会員が参加したことを報告。当日の詳しい模様や、今後の柔道大会での救護員としてあるべき姿について道筋を伝えた。

スポーツ救護は一般の施術とは違う。しかし救護のありようをめぐる議論はほとんどされて来なかったのが現状だ。今回のような研修を続けることで現場での行動や意識変容に大きな役割を果たせるのではないかと。次世代の柔道整復師にもぜひ参加して体験していただきたい。



群馬県柔道整復師協同組合 研修会

「病接連携」 多様な点から検証して関係継続を



特別講演

整形外科医と柔道整復師の協力

「医接連携のキーポイント」を掲げて11月10日に開催した「群馬県柔道整復師協同組合研修会」。特別講演では上牧温泉病院整形外科医の岡田尚之先生を招いて「整形外科医と柔道整復師の協力」と題して講演。「病接連携」を提唱し、これまでのあり方に一石を投じた。

整形外科医と柔道整復師。現在においては一部穏やかではない関係が続き、対立も顕在化している部分もある。今回は協力をキーワードに整形外科医の岡田先生が揺らぐ両者の関係と行く末について提言した。

冒頭、「理想の治療とは何か」と問いかける。講義は岡田先生が過去に治療した症例について画像で説明しながら進められ、そこで治療方法の問題点を探った。手術に踏み切るか、するならばどのような方法が良いか、固定方法はどうか、入院か自宅療養か、など怪我の状態だけでなく患者の生活環境も含め考慮を重ね、多様な視点から分析することが重要であると強調。様々な経験を重ねた上で、「上手くいったことよりも、いかなかったこと」を検証していくべきと指

摘した。

医師と柔道整復師との違いについても言及し「命の現場を通した経験の差異ではないか」と指摘。こうした中で、柔道整復師の果たすべき役割はどこにあるのか。岡田先生は「人の体を扱うことに謙虚になり、患者ファーストを掲げ、施術所を運営していくことは十分重要的役割だ」と語った。

また、柔道整復師は患者との距離が近く、一般の病院よりも長い時間施術にあたっている事が多い点も強みだとして、「患者の側に立って行動もできる柔道整復師のポジションはより重要になってくる」と主張。それには様々な医療関係と連携を取り、理不尽な状況を減らしていく努力を続けていく事が肝要であるとして、今後の活躍に期待を寄せた。





Satellite Reports

県内各地区の活動レポート

伊勢崎佐波

介護予防フェスタ 健康寿命を延ばし介護予防

10月20日、伊勢崎市役所東館で伊勢崎佐波医師会と伊勢崎市の主催による「介護予防フェスタ2024」が開催された。

これは介護予防を啓発する祭典で、今年で15回目となる。医師会をはじめ医療関係団体・介護関連・ボランティア等、18団体が参加した。

伊勢崎佐波柔道整復師会は、接骨百歳体操の集団指導と個別指導のブースを出展。集団指導では運動の楽しさを伝え、個別指導では個々の体力や状況に合わせて必要とする運動習慣を動機づけて、健康寿命の維持に役立つよう説明した。

各種ブースが賑わい見せる中、接骨百歳体操コーナーには集団・個別指導合わせて120名にも上る参加者が訪れ、体操を体験。介護予防に対する関心の高さが伺えた。

接骨百歳体操を通じて高齢化社会に必要なとされる健康寿命を延ばし、介護予防に貢献していきたい。



高崎

災害医療訓練 情報伝達を成功に導くカギとは

令和6年度高崎市・安中地域災害医療対策会議活動訓練が10月18日に開かれた。高崎市と災害時の医療救護活動に関する協定書を結んだ後、初の訓練となった。

訓練想定はM8.1の地震が発生し、高崎・安中で震度6強を観測、建物倒壊、道路崩壊により多数の負傷者が発生したというもの。9時に訓練開始がメールで伝えられ、14時に地震発生伝達を受けた。シナリオにより机上訓練だが16時30時に訓練終了となるまで随時メール伝達に返信する必要があり、本番さながらの緊迫した雰囲気。19時から、オンラインでの反省会と今後の訓練内容の検討や意見交換へと続いた。

災害現場ではトリアージ、応急処置、搬送

の指示、感染症対策、精神的ケアなど医師・柔道整復師に求められるものは多い。災害現場での情報伝達は医師、看護師、消防関係団体が中心となる。柔道整復師の役割は、骨折・脱臼・捻挫・打撲等の応急処置。その中で、処置が無ければ何を行うのかという疑問も残るのも確かだ。しかし、災害現場では避難救護施設運用サポートなど、すべきことは山ほどある。手技ケアや物資の運搬など、できることはなんでもするという気持ちが災害現場で重要な役割を果たすだろう。

情報伝達成功の可否が現場活動に大きく影響するため、災害対応において情報の収集と伝達を常日頃から機器に慣れる事が重要である。訓練が訓練で終わる事を願う。

12月の当番施術所

前橋	伊勢崎佐波	桐生みどり	太田	高崎	富岡甘楽
1日(日)					
羽鳥接骨院 027-234-2312	根岸接骨院 0270-25-4396	清水接骨院 0277-47-6386 なかじま接骨院 0277-73-6902	なごみ接骨院 0276-55-4157	こじま接骨院 027-363-8668 わこう接骨院 027-321-8872	鈴木接骨院 027-373-0108 あいあい接骨院 0274-64-0052
8日(日)					
六本木整骨院 070-8796-0062	Repro整骨院・整体院 0270-61-8464	中島鍼灸接骨院仲町 0277-43-4117 高橋接骨院 0277-52-0846	よしだ接骨院 0276-55-6899	向井接骨院 027-373-4545 坂井接骨院 027-323-0090	まつばら接骨院 027-384-4793 田村接骨院 0274-63-1811
15日(日)					
わたなべ接骨院 027-288-9996	体気健育接骨鍼灸院 0270-22-4688	すわ接骨院 0277-46-0901 中里接骨院 0277-52-6336	タカラ接骨院 0276-31-2543	忍冬堂小野接骨院 027-372-0636 あさみ接骨院 027-329-6909	ほりぐち鍼灸接骨院 027-353-4155 ひきの接骨院・鍼灸院 0274-67-1277
22日(日)					
森下接骨院 027-283-0994	いざわ鍼ぎょう接骨院 0270-64-1908	澤接骨院 0277-53-9966 深澤接骨院 0277-46-2929	本町接骨院 0277-78-8300	堤ヶ岡接骨院 027-373-4499 長瀬接骨院 027-325-3544	瀬間はり灸接骨院 027-388-0553 中村接骨院 0274-74-6200
29日(日)					
阿部接骨院 027-268-3757	手島接骨院 0270-65-9230	福岡接骨院 0277-44-5100	増尾接骨院 0276-48-7252	藤川接骨院 027-372-1165 プロケア整骨院 027-395-5050	萩原接骨院 027-352-4178 鶴田接骨院 0274-64-3301
30日(月)					
さくら整骨院 027-255-1321	糸井接骨院 0270-62-0329	藤倉接骨院 0277-43-5374 のざわ接骨院 0277-46-8915	むらかみ接骨院 0276-38-2595	大谷接骨院 027-343-7701 寺澤接骨院 027-322-6303	正観寺接骨院 027-386-8812 ほさか鍼灸接骨院 0274-64-5638
31日(火)					
北沢接骨院 027-234-5600	齋藤接骨院 0270-76-4743	武井接骨院 0277-77-1156 ひろさわ接骨院 0277-46-6633	いしはら接骨院 0276-25-1984	石井接骨院 027-374-0586 中村接骨院 027-344-1877	勝田接骨院 027-360-5830 ほりぐちはりきゅう 接骨院 0274-67-5329



左の2次元コードからも
アクセスできます。

休日当番は変更となる場合があります。
詳しくは当会ウェブサイトにて、ご確認をお願い致します。



<http://www.sekkotuin.or.jp/kyujitu/index.html>

